

兵庫保険医新聞

第2053号

2023年11月5日

発行所 兵庫県保険医協会

http://www.hhk.jp/

〒650-0024 神戸市中央区海岸通1丁目2-31

神戸フコク生命海岸通ビル5F ☎078-393-1801

(1部350円送料共・年間購読料12,000円)

振替01190-1-2133

(会員の購読料は会費に含まれています)

今号の記事

第102回評議員会・特別講演プレインタビュー 3面

審査対策部だより「2022(令和4)年度の指導の実施状況(兵庫県)」 3面

研究 診内研より「ステロイド内服の副作用と効果—実体験も交えて—」 4面

ラジオ関西番組出演 毎週日曜 朝6時30分～

「兵庫県保険医協会の聴く医療」放送中!!

AM558kHz/1395kHz(県北部) FM91.1MHz

11月19日 ながらスマホの危険性

11月26日 医師の働き方改革

12月3日 口と幸せの関係

感染対策費増・物価高騰…

“全く余裕ない”“医療機関もたない”

「診療報酬の大幅引き上げ求める」署名に切実な声

物価高騰・賃金増などへの対応の困難さがつづられた「私の一言」欄

私の一言

もうあかん

私の一言

賃上げのお願い、2023年給与改定に際して、物価高騰の影響で、コスト増が激しく、給与引き上げをお願いしています。ご理解とご協力をお願いします。

私の一言

万博開催に健康に投資する

私の一言

医療現場は長らくコロナ禍で苦戦を続けています。医療従事者の負担軽減のため、診療報酬の引き上げをお願いしています。ご理解とご協力をお願いします。

本号に署名用紙を同封

まだの方はFAXまたはオンラインで!

兵庫県保険医協会第102回評議員会

臨時(決算)総会・第46回共済制度委員会

11月19日(日) 13時～17時30分 兵庫県保険医協会会議室

・13時～ 第102回評議員会 ・14時50分～ 臨時(決算)総会

・15時～ 第46回共済制度委員会

特別報告「最新の世界経済の動向と来年の展望」

明治安田総合研究所経済調査部 エコノミスト 前田 和孝氏

・16時10分～ 特別講演

「岸田政権をどうみるか

—市民の要求実現のための展望を探る—

石川 康宏氏(神戸女学院大学名誉教授)

3面にプレインタビュー掲載

お申し込み・お問い合わせは、☎078-393-1817まで



「医師・看護師を増やせ」「保険証をなくすな」など大いにアピール



参加した(右から)武村義人・白岩一心両副理事長、川西敏雄、杉山正隆、比谷野外音楽堂

医療・介護・福祉の国の予算を増やし、いのちを守る社会へ。保団連など医療団体と労働組合で作る実行委員会は10月19日、東京・日比谷野外音楽堂で医療・福祉の予算増を求める「いのちまもる総行動」を開催し、オンラインと合わせて全国から医療関係者ら3100人が参加した。兵庫協会から武村義人・白岩一心両副理事長、川西敏雄が参加した。

集会では、医療・介護・保育の各分野の代表がリレートークし、現場の実態を語り、政府に対する要求を訴えた。集会後、参加者は社会保障の充実を訴えて東京駅までパレードを行った。

集会では、医療・介護・保育の各分野の代表がリレートークし、現場の実態を語り、政府に対する要求を訴えた。集会後、参加者は社会保障の充実を訴えて東京駅までパレードを行った。

集会では、医療・介護・保育の各分野の代表がリレートークし、現場の実態を語り、政府に対する要求を訴えた。集会後、参加者は社会保障の充実を訴えて東京駅までパレードを行った。

「ザ・ニュースペーパー」が登壇し、コントにより会場を盛り上げた。医療現場からの訴えでは、保団連理事の山崎利彦先生がマイナンバーカードの保険証利用の強制による国民皆保険制度崩壊の危険性を指摘し、現在の保険証が今まで通り使えるようにみんなと力を合わせて頑張りたいと呼びかけた。

政党からは、立憲民主党の近藤昭一・吉田統彦・野間健各衆議院議員、日本共産党の田村智子・倉林明子・吉良よし子各参議院議員が参加した。

いのちまもる10・19総行動 3千人がアピール

診療報酬の大幅引き上げを!

社会保障費を増やし、待遇を改善する必要性が訴えられた。

会場参加者は「いのちまもる」「保険証なくすな!」と書かれたフラカードやうちわを掲げ、「健康保険証をなくすな」「賃金を大幅に引き上げろ」「戦争する国づくり反対」などアピールしつつ、銀座のまちをパレードした。

午前中には、保険証の存続や診療報酬大幅引き上げを求めて、国会議員への要請を行った。国会開会前日の多忙になか、宮本たけし衆議院議員(共産)と面談。



面談に応じた宮本たけし衆議院議員(右から2人目)

「保険証廃止はありえない!」署名にご協力ください



◀オンラインでも署名をすることができます

※名前・メールアドレス、市町を入力するだけで簡単!



燭心

今から約2500年前、中国春秋時代に「狙公」という猿回しが多量の猿を飼っていた。猿との対話ができ、お互いに気持ちを理解していたらしい。ところが急に貧しくなり、餌を減らしたいと思いついた。猿たちがなつかなくなることを心配し、猿を何とか騙そうと「お前たちに与える橡の実を朝三つ、夕方四つにしたいと思うどうか」と言った。猿たちは皆怒った。そこですぐ「では朝四つ、夕方三つではどうか」と言い直すと猿たちは喜んで納得した。列子による「朝三暮四」という有名な故事▼「狙公」を岸田総理、腹が立つが猿を国民に当てはめると、サラリーマンの所得税を減税して所得を増やすというが、社会保障料増や他の増税で手取りはほとんど変わらない。財務省の企む狡猾な「朝三暮四」の世界だ▼人口では日本の3分の2、日本と同様に資源の少ない敗戦国ドイツにGDPで抜かれる見込みという。輸出大企業だけを優先する安易な円安によるアベノミクスの失敗を認めず、国民の反対が生じがたいと思われるタバコを増税して税収を上げようとしている▼タバコによる健康被害は明白である。歴史的に独占企業である専売公社の巨大な収入は軍備調達に使われた。

「日本たばこ産業」と名前は変わったが民間企業とは名ばかりで、筆頭株主は財務大臣であり、多くの天下り役人を受け入れ、実態は昔と変わっていない▼国民は猿ではない。これ以上、誰かたがたest res publica res populi. 国家は国民のものである! (鼻)

「診療報酬の大幅引き上げ求める」医師・歯科医師署名

よせられた声

“質の高い医療 維持できない”

(1面からのつづき) 協会が取り組む「診療報酬の大幅引き上げを求める」医師・歯科医師署名に、寄せられた会員の声の一部を紹介する。

・コロナ感染症による患者数の減少、受診抑制。物価上昇にも関わらず診療報酬は不変。むしろ実質的な報酬減である。人件費上昇は避けられない状況である。

(明石市・医科)

・診療報酬の大幅引き上げだけでなく、かかりつけ医制度を確立しようとする方針も含め、患者さんを適切に診療しているわれわれ医師のことを政府はどのように見ているのだと言いたい。安全な医療を行っていくことを命をかけて行っているわれわれよりも軍事に費用を費やして、何が国民のことを大切に思っているかと言いたい。

(姫路市・医科)

・従業員の賃金は上げてやりたいが、報酬が少なければ、上げられない。義歯を装着時「安い」といわれることがあるが、これでは歯を大切に思わないのではないか。

・医薬品や医療材料が値上がりし、収入が減少しているのに、診療報酬は据え置かれていて、診療報酬はほぼ横ばい。窓口負担は上がり受診抑制へとながっている。考えていたきたい。

(三田市・医科)

・医療現場は長引くコロナ禍で受診抑制、感染症対策による経費増、物価、コストの上昇等で経済的に厳しい状況におかれています。来年度の診療報酬改定時こそ大幅な引き上げが絶対に必要です。また患者の窓口負担の軽減も必要です。

・今のままでは、質の高い医療ができません。40年前の点数と変わっていない。朝三暮四で馬鹿にされているのかと思います。

(芦屋市・歯科)

・費、コストが上昇しているのに、診療報酬の大幅引き上げを強く要望します。

(川西市・医科)

(西区・歯科)

第46回保険診療法制研究会

告 保険証廃止やオンライン請求義務化について協議

協会役員と弁護士グループが、審査・指導問題など、開業保険医を取り巻く諸問題について検討している保険診療法制研究会。10月5日、46回目の研究会を協会会議室で開催し、8人が参加した。清田美夏弁護士の報告を紹介する。

今回の研究会においては、まず個別指導の帯同報告がありました。

次に、オンライン資格確認義務不存在確認等請求訴訟・保険証廃止問題については、兵庫県弁護士会から声明を出してもらったために、改めて法制研の方で議論してから弁護士会と協議すること、共謀罪PTだけでなく憲法問題委



除去後の銀歯の取り扱いや医師の働き方の問題なども検討

員会にも協議を求めることを確認しました。

次に、レセプト請求にあたりオンライン請求を義務づける制度について、問題点等を議論し、設備の導入にあたり、運用上の懸念や費用負担の懸念などのデメリットも多数あることを確認しました。

次に、開業医向け書籍について、形式面の修正、小見出し

の追加、目次の作成を行うことや、発行部数や頒布方法について確認しました。

次に、除去後の銀歯の取り扱いについて、患者から引き渡しを求められた際の対応についても議論しました。銀歯は、感染性医療廃棄物に該当するため、ガイドラインに沿

【神戸花くま法律事務所 弁護士 清田 美夏】

理事会 スポット

◇出席 23人

◇情勢 「地方公共団体情報システム機構」(J-LIS)からマイナンバー関連事業で巨額注進を受けた大企業5社が、自民党の政治資金団体「国民政治協会」に9年間で計7億円を献金していたことが明らかに。一方、各社が受注した関連事業の総額は104億1千万円に上る。

◇医療運動対策 ①「診療報酬の大幅引き上げを求める医師・歯科医師要請署名」到達179筆(10/12現在)、②保険証廃止反対に関する取り組み(i) 保団連の患者署名「保険証残せ」(目標5万筆、会員参加率20%)、(ii) 随時、会員インタビュー、(10月14日 理事会より)

診療報酬大幅引き上げ 求める医師・歯科医師署名 患者窓口負担の軽減

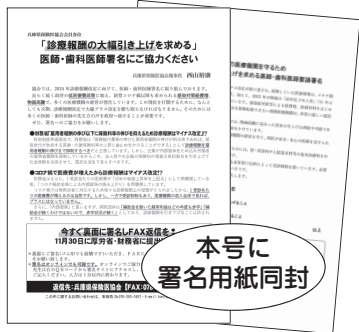
まだの方は今すぐご署名を！



オンライン署名はこちらから

本号に署名用紙を同封しています。ご署名(ゴム印でも結構です)いただき、FAXにてご返信をお願い致します。

署名はオンラインでも可能です。上のQRコードから署名サイトにアクセスし、必要事項をご記入ください。入力1分以内に終わります。



本号に署名用紙同封

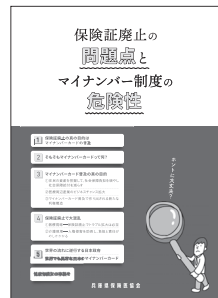
クイズで考える日本の医療2023

「健康保険証がなくなるって本当？」



保険証廃止についてクイズで楽しく知り、兵庫県グルメも当たる企画です！

パンフレット 『保険証廃止の問題点とマイナンバー制度の危険性』



保険証廃止・マイナンバーカード普及の政府の狙いや、海外の制度との比較などを分かりやすく解説したパンフレットが完成しました！

お問い合わせ・ご注文は、☎078-393-1807まで

ドクターに最適を提供します

保険医協会の共済制度

✓中長期の資産形成に 〈次回受付は来年4月1日開始〉

保険医年金と積立年金DefLデフェル

✓病気やケガによる休業も安心

休業保障制度と所得補償保険

✓死亡・高度障害に

グループ保険と新グループ保険

✓医事紛争に備えて

医師賠償責任保険

✓団体割引の

自動車保険と火災保険

✓サイバー攻撃への備えに

サイバープロテクター保険

✓三井住友海上あいおい生命の

医療保険とガン保険



http://www.hhk.jp

お問合せは共済部まで ☎ 078-393-1805

秋の共済制度募集 好評受付中！

協会の共済はご加入内容をまとめて管理。ワンストップサービスを提供します。



審査対策部だより

2022(令和4)年度の指導の実施状況(兵庫県)

協会の求めにより、近畿厚生局は「2022(令和4)年度保険医療機関等の指導及び監査の実施状況報告書」(兵庫県)を開示した。

指導の実施件数は前年度より増加

コロナ禍から2年が経過した昨年度は、個別指導、新規個別指導(以下、新規指導)とも一昨年度の2021年度より実施件数が増加した。個別指導は病院1件、医科診療所22件、歯科19件、新規指導は病院1件、医科診療所143件、歯科96件が実施され、ほぼ年度当初予定通りの実施件数となった。

実施された個別指導のうち、選定理由が「情報提供」によるものは、病院1件、医科診療所7件、歯科8件。「再指導」によるものは、医科診療所15件、歯科9件であった。

協会が廃止を求めている「高点

数」による個別指導は、2020年度から2023年度まで実施されないこととなっており、実際に2022年度も0件となった。

新規指導でも多くが「自主返還」 歯科では7割

新規指導実施後の措置が「概ね妥当」だったものは医科診療所9件(6.6%)、歯科2件(2.3%)、「経過観察」は病院1件、医科診療所124件(90.5%)、歯科82件(93.2%)、「再指導」は医科4件(2.9%)、歯科4件(4.5%)であった。自主返還となった件数は、医科診療所で半数弱、歯科で7割強に及んでいる。

表 2022(令和4)年度指導の実施状況(兵庫県)

【個別指導】									
	実施 機関数	選定理由							
		情報提供		再指導		高点数		その他	
		選定	実施	選定	実施	選定	実施	選定	実施
病 院	1	1	1	1	0	0	0	0	0
医科診療所	22	10	7	15	15	0	0	0	0
歯 科	19	8	8	12	9	0	0	2	2
	指導後の措置				返還				
	概ね妥当	経過観察	再指導	要監査	機関数	金額（円）			
病 院	0	1	0	0	0	0			
医科診療所	0	14	8	0	18	13,888,867			
歯 科	0	9	9	1	13	2,251,203			

【新規個別指導】									
	実施 機関数	指導後の措置				未措置	返還		
		概ね妥当	経過観察	再指導	要監査		機関数	金額(円)	
病 院	1	0	1	0	0	0	1	28,357	
医科診療所	143	9	124	4	0	6	64	1,343,684	
歯 科	96	2	82	4	0	8	63	389,863	

指導通知が届いたら協会へ相談を

協会では近畿厚生局および厚生労働省に個別指導や監査の改善を求めているが、医療機関においては日ごろからのカルテ記載や保険請求ルー

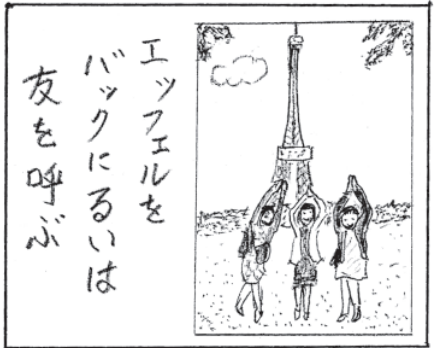
ルの習熟が不可欠である。個別指導等の実施通知が届いた際は、ぜひ協会に相談していただきたい(医科☎078-393-1840、歯科☎078-393-1809)。

会 員 投 稿

ホイホイ漫画⑤3

長田区 ぽん太with T.T.

永田町ことわざ



値段

鳥インフルエンザで
鶏多数殺処分
物価の優等生 卵も
値上げ



第102回評議員会・特別講演 プレインタビュー

社会保障充実へ何が必要なのか

11月19日ご参加ください!

保険証廃止、医療・社会保障費抑制政策の継続の一方、防衛費増を推し進める岸田政権をどう見るのか――。11月19日開催の評議員会の特別講演(1面に案内)では、石川康宏・神戸女学院大学名誉教授にお話を伺う。当日どのようなお話をいただくのか、政策部は事前インタビュをオンラインで行った。このインタビュを参考に多くの会員にご参加いただきたい。(聞き手・編集部)

―このたびは評議員会の特別講演の講師をご快諾いただきありがとうございます。

さて、来年は診療報酬改定となります。各医療現場では、感染対策の継続や物価高騰によるコスト増で経営が悪化しています。

しかし、政府内では診療報酬引き上げに否定的な意見が根強いです。背景には、岸田自公政権の防衛費増優先の姿勢があると思います。

岸田首相はなぜこれほど日本の軍事大国化を進めるのでしょうか。

石川 現在の自民党内部で



石川 康宏

神戸女学院大学名誉教授

「軍拡すれば平和が守れる」という教訓はあの戦争からは導か

に、それでも平和を守ることができていません。ですから「軍拡すれば平和が守れる」という教訓はあの戦争からは導か

―なるほど。一方の野党についてですが、「市民と野党の共闘」も失敗だったという

石川 市民の命と健康を守るために、われわれはこういう仕事したい、医療がしたいという医療の専門家ならはの提言をわかりやすく行っていたらいいと思います。

医師や看護師等の過重労働の改善は必要ですが、それを医

石川 軍拡によって本当に平和が拓けるかという点、国際政治の動きはそう簡単なものではないですね。まずロシアによるウクライナ侵略ですが、世界最大の軍拡の成果であるNATOによってもこれは阻止できず、いまま戦争を終わらせることができない状況です。アメリカを頂点とする核保有国がいくつもあるの

に、それでも平和を守ることができていません。ですから「軍拡すれば平和が守れる」という教訓はあの戦争からは導か

―最後に医師・歯科医師へのメッセージをお願いしま

石川 市民の命と健康を守るために、われわれはこういう仕事したい、医療がしたいという医療の専門家ならはの提言をわかりやすく行っていたらいいと思います。

医師や看護師等の過重労働の改善は必要ですが、それを医

の後の岸田さんの動きを見てもらえます。冷静に事態を見つめる必要があります。

―一方で、ロシアのウクライナ侵攻などを見ると、防衛費増も仕方ないとの意見もあります。

石川 野党が一定の政策合意のもとに候補者調整をして選挙勝利をめざす「市民と野党の共闘」は、2016年から2021年までのすべての国

議の立川選挙区補選など全国各地で、様々な形で野党共闘が実現し、その候補が自民党候補を押し返して当選しています。自分たちの代表を選

療の充実には不可欠なこと、市民の命と健康を守るのに必要なことという角度から大胆に提起していただきたいと思うのです。命や健康、医療の問題はあらゆる市民にとってわ

の取り組みをご紹介したいと思います。

―本日、お話しただいことを当日はもっと深掘りしていただけるということで、大変楽しみです。

会員ト報

有馬 清徳先生

西宮市 整形外科・リハビリ科
9月11日 享年93歳

長谷川 正宜先生
豊岡市 内科・麻酔科
10月14日 享年70歳

富原 均先生
西脇市 循環器内科
10月18日 享年73歳

ご冥福をお祈り
申し上げます

診内研

より540

ステロイド内服の副作用と効果

—実体験も交えて—

大阪公立大学大学院 皮膚病態学 教授 鶴田 大輔先生講演



兵庫県保険医協会

☎ 078-393-1801

Fax 078-393-1802

http://www.hhk.jp/

抄録

私は臨床面、研究面の両者で自己免疫性水疱症である天疱瘡と類天疱瘡を専門としている。これらの治療のスタンダードは大量のステロイド内服療法である。

ステロイドは細胞質内のステロイド受容体と結合後、核内に移行し、遺伝子発現を調節して、抗炎症作用や免疫抑制作用を発揮する¹⁾。ステロイドは好酸球、リンパ球、マクロファージなどに強力に作用するだけではなく、様々な副作用を有する。

これまで筆者は多数の患者に大量のステロイド投与を行ってきた。約4年前に筆者自身がネフローゼ症候群となり大量ステロイド内服を経験した。この際に、臨床医としては見えていなかったステロイドにまつわる注意点を発見したので、それを中心に述べた。

ステロイド総論

そもそも内服ステロイドを処方する目的としては、1) 不足分の補充、2) アレルギーが激しいので抑える、3) クリティカルな浮腫を改善する、4) 炎症が激しいので抑える、5) 免疫病なので免疫を抑える、が挙げられる²⁾。

もともと、免疫は異物や病原体を排除するために作られたシステムであるが、異物や病原体がないにも関わらずそれを攻撃する場合、免疫病となる。この場合、不可逆的な臓器障害を引き起こす可能性がある。主要なグルココルチコイドはコルチゾールである。これは副腎皮質でコレステロールから産生される。循環コルチゾールの5%以下が非結合型

で、この非結合型が活性分子である。ステロイドは可溶性の細胞質内レセプターと結合し、核内へ移動する。そこで転写調節が行われ、サイトカインなどの産生が行われる。

ステロイドにより、炎症メディエーターを直接抑制する機序と転写調節に関係するNF-κBなどのシグナルを間接的に抑制する機序とがある。一般的に抗炎症作用を期待する場合になぜステロイドがファーストチョイスになるかと言えば、可及的速やかという観点で最強であるからであろう。

ただ、このすばらしい効果と引き換えに、長期使用では必ずと言って良いほど副作用が出現する。細胞レベルでのステロイドのターゲットは、好酸球>リンパ球>マクロファージ>好中球と考えられている³⁾。

内服ステロイドの皮膚科学での適応疾患は、膠原病、血管炎、リンパ腫、重症の湿疹・皮膚炎、紅皮症、多形紅斑、結節性紅斑、重症薬疹、水疱症となろう。副作用としては、消化性潰瘍、精神神経症状、感染症、糖尿病、骨粗鬆症、副腎不全、無血管性骨壊死、筋症状、眼症などがある。

大部分の副作用は用量依存的に現れると考えられている。無血管性骨壊死は頻度が低いとは言え、QOLを考えると見落とさない努力が必要である。単純レントゲンでは見落とされ、MRIが有用と考えられている。

自覚症状としては原因不明の関節痛であるので注意が必要である。食事とステロイド投与についてはあまり議論になることはないが、アルコール、コーヒー、ニコチンは最小限にすることが推奨されるという論文

があった⁴⁾。

わたしとステロイド⁵⁾

約4年前に微小変化型ネフローゼ症候群と診断された。診断された当時、かなりのハードワークで、暴飲暴食を繰り返し、何度も海外出張をしていた。

頸椎症とも診断されており、NSAIDsも内服していた。突然の体重増加、下腿と上眼瞼の浮腫に気づき、内科受診した。血液検査にて肝機能異常、BUN35mg/dL、Cre1.5mg/dLと腎機能異常、Alb3.0g/dLと低下、コレステロール303mg/dL、中性脂肪250mg/dLと高脂血症、尿蛋白4g/日。

以上よりネフローゼ症候群と診断され、腎生検のために入院した。結果に日数を要したがその間に高度の体重増加のために再入院し、腎生検の結果がでるまでアルブミン製剤の点滴を行って、いったん退院した。結果が微小変化型と判明したため、プレドニン50mg/日から開始された。残念ながら通常の治療に反応が悪く、腎前性腎不全となった。

結果的にはプレドニンを継続しつつ、グロブリン製剤とアルブミン製剤の併用、利尿剤の投与、透析の施行により改善し入院3カ月で退院となった。

私自身は医師であり、ありふれた腎疾患でガイドラインもあるために、当初は標準治療で改善するものとはばかり思っていたが、治療には難渋した。

その間に自分自身の治療で疑問に思ったことは自ら調べて解決を図った。例えば、指の創傷治癒が遅延した。ステロイド投与と創傷治癒遅延についてはどこまでわかっているのだろうか? 論文によると、高用量ステロイド短期投与では創傷治癒には影響せず、慢性投与では感受性の高いヒトで創傷治癒遅延とあった⁶⁾。

このため、比較的早期から治癒遅延していたのは、ステロイドによるものというよりは、頻回の手洗いが

過度であったためではないかと推測している。

また、プレドニン内服で反応が乏しかった際に、プレドニン点滴に切り替え、やや改善した。プレドニン内服投与量と点滴の投与量は、自らが患者になる前は単純に1.5~2倍と思っていたが、最近の考えでは投与量についてはかなりの議論があり²⁾、単純には割り切れないことも調べていてわかった。

入院中に不眠が高度で、ステロイドの影響によるものと、おそらく医療スタッフも私自身も思い込んでいたが、実際には医療スタッフの睡眠確認で使用するライトの眩しさに起きていることに途中で気づいた。ステロイド投与中には精神神経症状が出現するため、説明が難しい患者の症状は精神神経症状と考え、高度であれば神経精神科受診、軽度であれば投与量の減量に伴い改善すると私自身思い込んでいたが、そうではない可能性もあることを身をもって経験できた。

最後に

患者になってみて初めて、医師としてのこれまでのあり方に反省点が多々あることを知った。今後はこの経験を踏まえ、患者に寄り添った医療をしたいと考えている。

参考文献

- 1) 山本 一彦; ステロイドの選び方・使い方ハンドブック 改訂3版 羊土社 2018
 - 2) 國松 淳和; ステロイドの虎 金芳堂 2022
 - 3) 岩波 慶一; ステロイド治療戦略 日本医事新報社 2019
 - 4) Cogan MG et al. Ann Intern Med 95;158-61, 1981
 - 5) 鶴田 大輔. 臨床皮膚科74; 198-9, 2020
 - 6) Wang As et al. Am J Surg 206; 410-7, 2013
- (8月19日、第600回診療内容向上研究会より)

健康情報テレホンサービス

通話料無料(0120)979-451



ポスター、ミニチラシを受付に置いていただくなど、ご案内にご協力よろしくお願いいたします。

ミニチラシのご注文、お問い合わせは、☎078-393-1840まで

本号同封ポスターを
掲示してください

* 共済部だより *

各種共済制度の新規加入者証、生命保険料控除証明書等のお届けについて

「保険医年金」の新規加入者証は11月末までにお届けします

この春にお申し込みいただきました「保険医年金」9月1日発足分の加入者証は、11月末までに大樹・富国各生命保険会社の担当社員を通じてお届けします。内容をご確認のうえ担当社員に「受領書」をお渡しください。

保険医年金「積立金通知書」「生命保険料控除証明書」は11月初旬にお届けします

現在ご加入の保険医年金の「積立金通知書」は、11月初旬に大樹生命より送付いたします。積立金合計は2023年8月末現在(2023年9月1日発足分は含まれません)の元利合計となっています。また、加入年度が多い場合は、2枚になっている場合がありますので、ご注意ください。

来年の確定申告に必要な「生命保険料控除証明」が積立金通知書の下段に記載されていますので、切り取って保存のうえご利用ください。

積立年金「DefL」(デフェル)の「生命保険料控除証明書」は11月初旬にお届けします

積立年金「D e f L」(デフェル)の「生命保険料控除証明書」、「ご加入のお知らせ」(被保険者票)は、11月初旬にお届けします。昨年からご加入の皆さまには積立金残高等が記載された「ご加入内容のお知らせ」を11月下旬に送付いたします。

「グループ保険」「新グループ保険」の「生命保険料控除証明書」は11月初旬にお届けします

「グループ保険」「新グループ保険」の「生命保険料控除証明書」は、ご加入の皆さまへ11月初旬にお送りいたします。

お問い合わせは、☎078-393-1805 共済部まで